

# HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

北経連会報 | Aug. 2023

No. 222



北陸は  
一  
つ  
。

# CONTENTS

北経連会報

No.222 Aug 2023

2023年度定期総会	01
会長挨拶	02
活動報告	04
2023年度 北経連スケジュール / 北陸経済連合会《事務局》	20
新規会員ご紹介のお願い	21



## 北陸経済連合会 設立の経緯

1967年、「北陸は一つ」であるとの認識のもと、北陸の経済人が結集し、経済人の創意のもとに北陸の発展可能性を追求し、公正なる見解をとりまとめ、その実現に努力する場」として北陸経済連合会が設立されました。

## 2023年度定期総会



### 2023年度定期総会・ 第111回理事会 / 特別講演

日時：6月6日(火) 13:30-17:30  
会場：ANAクラウンプラザホテル金沢(オンライン併催)  
参加者：158名(会場119名、オンライン39名)

冒頭の会長からの挨拶に続き、金井会長を議長として議事に入り、次の3議案について原案のとおり承認された。

第1号議案：2022年度事業報告および決算(案)

第2号議案：2023年度事業計画案および収支予算(案)

第3号議案：役員選任(案)

役員選任では、新任の理事に(株)箔一代表取締役社長の浅野達也氏、(株)北陸銀行代表取締役会長の庵栄伸氏、石黒建設(株)代表取締役社長の齊藤泰輔氏、(株)森八取締役女将の中宮紀伊子氏が選任された。また、常務理事・事務局長の新開章弘が6月28日付で退任するのに伴い、同日付での牧野正広の理事就任も承認された。このほかの理事・監事、金井会長の再任が決まった。なお、本総会をもって、副会長の(株)北陸銀行特別参与高木繁雄氏、常任理事の石黒建設(株)代表取締役会長齋藤博氏が退任された。

続けて開催された第111回理事会では、新任の副会長に庵栄伸氏、新任の常任理事に(大)北陸先端科学技術大学院大学長の寺野稔氏、(大)金沢大学長の

和田隆志氏が選任された。常務理事・事務局長については、6月28日付での新開章弘から牧野正広への交代が承認された。参与については、富山経済同友会事務局長の交代に伴い、新たに上田順子氏の就任が了承された。あわせて、今年度の委員会委員の紹介も行われ、国際委員長を退任される江守康昌氏の後任として、津田駒工業(株)代表取締役会長兼社長の高納伸宏氏の就任も報告された。

この後、大阪大学特任教授で元外務事務次官の藪中三十二氏を招き、『漂流するグローバル社会と日本の針路』と題しての特別講演を開催した。我が国を取り巻く安



全保障環境が緊迫度を増すなか、藪中氏は今後の日本がとるべき針路について、日米同盟関係を確固としたものにするとともに、防衛力の一定の整備・強化を図りつつ、東アジアの平和を維持する外交努力を能動的に行うことが必要と指摘された。



## 会長挨拶



### はじめに

皆様、本日は大変ご多用のところ、北経連総会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から当会の活動に対しまして、格別のご高配・ご協力をいただいております。重ねて御礼を申し上げます。

### 足元の経済状況

さて、足元の北陸経済の状況でございますけれども、日銀金沢支店、財務省北陸財務局などの見方を総合いたしますと、北陸の景気は持ち直しの傾向が継続しているものの、企業の景況感は横ばいというところでございます。

具体的には、非製造業では、新型コロナの制約が緩和され、外出機会や消費意欲の増加によるペントアップ需要の顕在化、また、インバウンド需要の回復等により、小売業や宿泊業等で堅調となっております。

一方、製造業では、スマートフォン向けを中心とした電子部品・デバイス等の需要が減少していることなどにより、弱含みとなっております。

本年4月に実施いたしました当会の会員アンケートでも、業績につきまして、非製造業では好調との回答が多く、また、製造業では逆に厳しいとの回答が多くなっておりまして、このような見方は会員の皆様の感覚と一致しているように思っております。

今後の見通しにつきましては、物価高対策を中心とした政府の政策の効果により、景気の拡大が期待される一方、欧米を中心とした急速な金融引き締めや、一部銀行の破綻等を契機とした海外の金融システムに対する不安、また、物価の動向、サプライチェーンの健全性等のリスク要因について、引き続き注視していく必要があります。

### 賃上げの動き

次に、今年の春闘における賃上げについてでございますが、経済界が積極的に賃上げを推奨したこともございまして、大手企業の賃上げ率は3.91%と、31年ぶりの水準となりました。

当会の会員アンケートでも、社員のモチベーションアップや人材確保を主な理由に、実に8割を超える企業が今回賃上げを行っております。

今後、賃上げと消費拡大による景気の好循環が期待されるところであります。

### 今年度事業計画

続きまして、2023年度の当会の事業についてでございますが、本年度も引き続き、北陸新幹線等の社会基盤の整備、企業の労働生産性の向上、多様性と一体性の両立に取り組んでまいります。

詳細につきましては、後ほど事務局からご説明をいたしますが、私からはいくつかの点につきましてコメントをさせ

ていただきたいと思います。

### 北陸新幹線

まず、北陸新幹線についてでございますが、敦賀開業まであと9か月余りとなりました。

本年4月に、ある政府系金融機関が、敦賀開業による石川県内への経済波及効果を年間約280億円と評価し、また、2020年には、福井県内への経済波及効果を年間約300億円と評価しております。この効果をしっかり実現させるためにも、敦賀開業時には金沢開業時と同じように、ぜひとも北陸ブームを巻き起こしたいと思っております。このため、敦賀開業に向けた機運の醸成や、各種全国会議の誘致、今年の秋に予定しております北陸デスティネーションキャンペーンのプレイベントなどにつきまして、北陸三県と一体となって取り組みを進めるとともに、北陸の主要都市間が1時間以内で結ばれることから、北陸を一体としてとらえた観光商品の開発なども働きかけをしていきたいと考えております。

敦賀・新大阪間につきましては、着工後に行う項目も含めた調査が先行的かつ集中的に行われることとなりました。

当会といたしましては、大阪までの一日も早い全線開業に向け、関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し、関西での早期全線開業を望む機運醸成に全力で取り組んでまいります。

また、政府に対しましては、施工上の課題を早期に解決し、開業までの期間を最大限短縮することや、着工や全線開業に向けたスケジュールを早急に明示していただくことなどを強く求めてまいりたいと考えております。

### 企業の労働生産性向上

次に、労働生産性の向上についてでございますが、生産年

齢人口の減少が避けられない中、企業の持続的成長のためには、労働生産性の向上は大変重要な課題であります。

その実現に向け、DX推進のほか、デジタル人材の育成やリスクリング教育に資する情報提供など、産学官連携による人材育成に取り組めます。

また、オープンイノベーション促進のため、会員とスタートアップ企業等との交流機会の提供や、北陸RDXアライアンス、北陸未来共創フォーラムなどを通して、新たな事業の創出支援を行ってまいります。

### 多様性と一体性の両立

多様性と一体性の両立につきましては、とりわけ女性活躍の促進が重要と考えております。『女性が働きやすい北陸』とのブランドづくりに向け、会員企業に対して、えるほし認定取得に資する情報提供や、経営層・男女双方の意識改革に資するセミナー等を通して、女性が希望する仕事にチャレンジでき、一人ひとりが能力を発揮できる環境整備に取り組んでまいります。

### おわりに

本日は、ただいまご説明いたしました考えに基づき策定した2023年度の事業計画や役員選任などについてご審議をいただきます。

また、総会後には、大阪大学特任教授で元外務事務次官の藪中三十二様をお招きし、『漂流するグローバル社会と日本の針路』についてご講演をいただきます。

本年度も皆様方の変わらぬご協力・ご支援をお願いいたします。開会の挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

以上

2023年	3月2日 (木)	第30回 北陸地域懇話会	P.05
	3月16日 (木)	ABCプラットフォーム 第2回全体会議	P.05
	3月23日 (木)	2022年度第3回人財活躍推進委員会	P.06
	3月24日 (金)	2022年度第3回国際委員会	P.06
	3月24日 (金)	2022年度第3回海外現地情勢報告セミナー	P.07
	3月28日 (火)	2022年度第3回新たな価値創出委員会	P.07
	3月28日 (火)	新たな価値創出オンライン講演会	P.08
	3月28日 (火)	第2回北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会	P.08
	3月30日 (木)	2022年度第3回社会基盤委員会	P.09
	4月6日 (木)	国内投資拡大のための官民連携フォーラム	P.09
	4月19日 (水)	2022年度第3回観光委員会	P.10
	4月21日 (金)	2022年度第3回総合対策委員会	P.11
	4月28日 (金)	富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会	P.11
	5月9日 (火)	北陸国際投資交流促進会議(北投促)企業視察	P.12
	5月10日 (水)	第1回政府予算等に対する要望検討ワーキング	P.12
	5月16日 (金)	第110回理事会・第356回常任理事会合同会議	P.13
	5月23日 (火)	北陸新幹線建設促進大会・2023年度北陸新幹線建設促進同盟会総会	P.14
	5月23日 (火)	北陸新幹線建設促進同盟会等中央要請	P.14
	5月27日 (土)	2023年度福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	P.15
	6月5日 (月)	第2回政府予算等に対する要望検討ワーキング	P.15
	6月6日 (火)	2023年度定期総会・第111回理事会／特別講演	
	6月26日 (月)	2023年度第1回海外現地情勢報告セミナー	P.16
	6月27日 (火)	北陸国際投資交流促進会議「最新のビジネスを支えるテクノロジーとアイデア」に学ぶ企業誘致勉強会	P.17
	7月4日 (火)	2023年度第1回総合対策委員会	P.17
	7月7日 (金)	第357回常任理事会	P.18
	7月11日 (火)	北陸国際投資交流促進会議(北投促)企業視察	P.18
	7月5日 (水)～26日 (水)	2023年度 実務者向けデジタル人材育成講座	P.19
	7月18日 (火)	北陸三県港湾勉強会	P.19

## 第30回 北陸地域懇話会

日時: 3月2日 (木) 15:30-17:30  
 場所: ANAクラウンスラザホテル富山(オンライン併催)  
 参加者: 66名(会場56名、オンライン10名)

第30回北陸地域懇話会をANAクラウンプラザホテル富山で開催し、国土交通省から北陸地方整備局の内藤局長、北陸信越運輸局の平井局長をはじめ27名、北経連からは金井会長をはじめ29名が会場に出席した。

金井会長は挨拶で、北陸の社会基盤整備の必要性について言及。中でも北陸新幹線を最重要課題とし、金沢・敦賀間については「敦賀開業時には、金沢開業時と同じように再び北陸への関心や認知度が高まるようデスティネーションキャンペーン等、観光客の誘客に努める」とし、敦賀以西については「1日も早い全線開業を目指して、関西の経済界や北陸三県と緊密に連携し政府に力強く要請するとともに、京都など関西圏での機運醸成に努める」と述べた。

その後、国交省より北陸各地の社会インフラ整備状況や地域観光推進等に関する施策の紹介等があった。北経連からは光野常任理事から北陸の社会基盤インフラについて、米沢常任理事からは観光について取り組み状況を紹介した。

自由懇談では、斉藤常任理事から新潟で発生した大雪による国道での立ち往生の原因・対策について、有馬常任理事から北陸に必要な人流・物流を強化するDXの取り組みについて、稲垣副会長から北陸圏広域地方計画について、庵理事から地域交通の存続について、加藤理事からは北陸新幹線敦賀開業に向けた取り組みについての質問・要望を行い、活発な意見交換となった。



## ABCプラットフォーム 第2回全体会議

日時: 3月16日 (木) 全体会議14:00-18:00  
 レセプション18:15- (シンガポール時間)  
 会場: シンガポールSingapore Manufacturing Federation (SMF)、オンライン併催  
 参加者: 関西経済連合会会長 松本 正義 氏  
 各国経済団体代表者(7か国) 以下現地参加 43名、オンライン39名  
 主催: Singapore Manufacturing Federation、(公社) 関西経済連合会

ABCプラットフォーム第2回全体会議に現地、及びオンラインにて出席した。ABCプラットフォーム事業を活用した、ビジネス創出の具体的成果として「事業実現支援プログラム」参加企業によるプレゼンテーション、各国関係機関代表による同事業の成果報告及び意見交換が実施された。

会議後のレセプションでは、各国経済団体と日本側参加者間で対面交流が行われ、人的ネットワークが構築された。来年度以降、当会が海外関連セミナーを企画する際の海外の共催者を見出すことができ、大変有意義な機会となった。

引き続き、各国経済団体、同団体所属企業と当会会員企業間のマッチングの機会を創出するべく、当会会員企業を啓発しつつ、関経連と連携を図る。





### 2022年度第3回 人財活躍推進委員会

日時：3月23日(木) 12:20-14:00  
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
参加者：10名(会場6名、オンライン4名)

委員会の開始に先立ち、2月9日に逝去された浅野邦子副委員長に黙とうを捧げた。

八木委員長は挨拶にて、浅野副委員長の功績やお気持ちを偲び、委員会として進むべき方向性を議論していきたいと述べた。また、コロナ禍から社会活動が回復しつつある一方で、実体経済との乖離も感じられる中での賃上げについて言及。賃上げと利益とのバランスをとるには、企業が価値を生み出すことが必要であり、人材を中長期的に育成することが重要とした。

議事では、2022年度事業の実施状況報告と2023年度事業計画案について審議した。

社員の男女比率の差が大きい企業では、男女別に管理職比率を算出して、男女差の縮小に取り組んでいる。女性管理職増加に向けて、ポストを細分化して、女性を登用しやすくする。育児中社員のフォローに同僚が不満を感じやすい状況に対して、お互いの状況を理解しやすい育児中のメンバーでチームを作り、プロジェク

トを進める。こうした各社の取組の紹介もあった。

2023年度事業計画案については、新しい視点や強化すべき点等、いただいた多数の意見を計画に反映させた。



### 2022年度第3回国際委員会

日時：3月24日(金) 15:00-16:15  
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
参加者：12名(会場7名、オンライン5名)

江守委員長は冒頭の挨拶で、欧米の景気等に起因し、繊維産業が厳しい状況にある一方、コロナウイルスの収束、及び円安がインバウンド需要の回復につながると述べた。また、海外市場調査、海外進出企業に対する有益な情報の提供、外国人の呼び込みが更に重要になることを強調した。

委員会では、2022年度事業計画の進捗状況、2023年度事業計画案について審議した。委員より資源高や半導体・電気部品の納期遅れ、人手不足が企業の課題となっていると発言があった。北陸・韓国経済交流会議再開の検討、人流を伴う活動の再開、サプライチェーン・カーボンニュートラルを意識した経営の重要性に関しても活発な意見交換がなされた。事業計画については、委員から多数の示唆に富む助言や要望等の発言があり、今後の事業活動を進める中で鋭意検討することとした。

委員会後には懇親会が開催され、限られた時間ではあったものの、活発な交流がなされ、委員間の親交がより深まった有意義な機会となった。



### 2022年度第3回 海外現地情勢報告セミナー

日時：3月24日(金) 16:30-17:30(日本時間)  
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
参加者：54名(会場18名、オンライン36名)

<主催者挨拶>

国際委員長 江守 康昌 氏

<講演>

「サプライチェーンの多様化と成長する東南アジア」  
日本経済新聞社 国際報道センター  
Nikkei Asia グループ 岩本 健太郎 氏

江守委員長は冒頭の挨拶で、サプライチェーンの再構築、国内外の為替変動、経済安全保障、米中摩擦、並びにロシア・ウクライナ問題等が起因し、会員企業を取り巻く環境は複雑化しており、将来の予測が困難となっていると述べた。

開催後のアンケートでは、サプライチェーンの多様化、東南アジアの最新政治・経済状況、東南アジアの成長性、東南アジアが感じている日本の存在感に対する理解が深まり、質疑応答でもメディアならではの貴重な回答が得られ、大変有意義な機会であったとの感想が数多く寄せられた。

アンケート結果を参考に、次回の対象国、テーマ等を慎重に検討したい。



### 2022年度第3回 新たな価値創出委員会

日時：3月28日(火) 12:20-13:50  
場所：ANAクラウンプラザホテル金沢(オンライン併催)  
参加者：19名(会場13名、オンライン6名)

委員会の冒頭、北村委員長から日本の労働生産性の低さは自動化設備への投資の遅れにあると考えており、政府の2022年度第2次補正予算において科学技術・イノベーション、スタートアップ、GX、DX等への投資促進として約6兆円の予算が盛り込まれたことを契機に地域へ投資を呼び込み経済の活性化につなげる必要があると挨拶があった。

事務局から2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性の報告、2023年度事業計画案を説明。(一財)北陸産業活性化センターから北陸RDXの状況について紹介した。

委員からは、企業と大学の交流機会の継続、対面交流の良さ、産業技術総合研究所北陸拠点見学などについてのご意見、先進企業のDX導入効果測定の話提供があった。

また、大学の委員からは、学生の有給長期就業体験のコーオプ教育、企業のデジタル化を支援す



## 活動報告

る取組み等について紹介があった。

いただいた意見について検討し、2023年度事業計画に反映させた。



### 新たな価値創出オンライン講演会

日時: 3月28日(火) 14:00-15:00  
形式: オンライン開催(委員のみ会場参加)  
参加者: 69名

福井大学学長の上田孝典氏を講師に迎え「福井大学の産学官金連携活動と展望～地域特性と連携力を活かして～」と題し、新たな価値創出講演会を開催した。なお、本講演会は、北経連会員以外の方にも各商工会議所等の各団体を通じて案内し、オンライン講演会として開催した。

上田学長からは、福井大学の産学官連携の取組みや地域における産業界や県との連携について話がいった。福井大学の産学連携・地域イノベーション推進機構、各リサーチ・アドミニストレーター(URA)の取組み、産学官連携プロジェクト研究開発の事例として眼鏡型ディスプレイ、未来創造テキストスタイル研究棟整備の経済産業省補助事業の採択等について紹介があった。

また、ふくいオープンイノベーション機構、ふくい宙(そら)プロダクト開発生産拠点化事業、

新価値共創拠点「i-Garageふくい」、産業技術総合研究所北陸拠点等、地域の各産学官機関等との連携についても紹介があった。

最後に、信頼感に基づく対話を数多く持続的に実施するとともに、共に社会実装・事業化まで協働する仕組みづくりを目指して挑戦していきたいと講演を締めくくった。



### 第2回北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会

日時: 3月28日(火) 15:30-16:30  
場所: 国宝雲龍山勝興寺本堂(富山県高岡市)

北陸新幹線敦賀開業後の2024年10～12月に北陸三県で実施される「北陸デスティネーションキャンペーン(DC)」に向け実行委員会が開催された。北経連の東田専務理事を含め、北陸三県や各県の観光連盟・推進機構、JR西日本より約30名が出席した。

会議では北陸デスティネーションキャンペーンのキャッチフレーズが「Japanese Beauty Hokuriku(ジャパニーズビューティーホクリク)～日本の美は、北陸にあり。～」に決まった。また「全国宣伝販売促進会議」を今年11月8日～10日に福井市の県産業

会館を中心に開催することも正式決定した。

JR西日本の漆原理事(現常務理事)・金沢支社長は「(敦賀)開業効果を最大にするため一体となって、素材の発掘や周遊ルートの整備を進めたい」と挨拶した。

そのほか今年10～12月にプレキャンペーンとして、大都市圏でのPRイベントやガイドブック作成などに取り組むことを確認した。



### 2022年度第3回社会基盤委員会

日時: 3月30日(木) 12:00-14:00  
場所: ホテル日航金沢(オンライン併催)  
参加者: 13名(会場7名、オンライン6名)

光野委員長は挨拶で、北陸新幹線の金沢・敦賀間について、2024年春の開業に向け、鋭意工事が進められ、順調に進捗しており、引き続き2024年春の確実な開業を政府に力強く要請し、また、関

西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し政府にも力強く要請するとともに、京都など関西圏での機運醸成に努めていきたいと述べた。

委員会では、2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性、2023年度事業計画案について審議した。委員からは、北陸新幹線の敦賀・新大阪間の全線開業に向けたスケジュール感についての質問や、関西経済連合会を含め、その他関西の経済団体との連携について、人流・物流に関する見学会の事例、各港湾でのカーボンニュートラルポート(CNP)形成に関する政府への要望等の意見をいただいた。



### 国内投資拡大のための官民連携フォーラム

日時: 4月6日(木) 17:30-18:30  
会場: 首相官邸(オンライン併催)

政府と経済界、地方団体等が一堂に会し、国内投資拡大に向けた機運醸成を目的とする「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」が開催され、北経連からは金井会長が出席した。

各経済団体の代表者が、地域の投資動向や投資拡大に向けた政府への要望について発言。金井会長は「北陸地域は、電子部品・デバイス、生産



## 活動報告

用機械、医薬品の3分野に投資が集中していることが特徴であり、加賀東芝エレクトロニクス(株)は、2024年度内の稼働を目指し、新たなパワー半導体製造棟の建設を計画している。また、更なる投資拡大のためには、①北陸新幹線を始めとする社会インフラの充実、②女性・シニア・外国人の更なる活躍等による人材不足への対応、③新事業立上げが重要なので、これらに対する支援を政府に要望する」と発言した。

最後に岸田総理から、「投資拡大に向けた政府への要望については、新しい資本主義を実現する観点から、関係省庁で積極的な対応を検討し、骨太方針や成長戦略に反映することで、投資を拡大していく取組を実行していくこととしたい」旨の発言があった。

会議資料は、経済産業省ホームページに掲載。  
<https://www.meti.go.jp/press/2023/04/20230406004/20230406004.html>

### 2022年度第3回観光委員会

日時:4月19日(水) 12:20-14:00  
会場:金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
参加者:21名(会場16名、オンライン5名)

米沢委員長は冒頭の挨拶で、観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」の一つに北陸地方が選ばれたことについて、富裕層インバウンドをターゲットとする北陸DMOの構想と同じ方向性であり、前向きにとらえていきたい旨発言した。

事務局から議題「2022年度事業計画の実施状況

と評価・方向性」、「2023年度事業計画(案)」について説明し、審議を行った。

委員からは、北陸新幹線敦賀開業は「北陸三県全線開業」という表現が適切ではないか、インバウンド富裕層が訪れる高額な観光・宿泊施設等が北陸にも存在することをしっかりと示すべき、アウトバウンドもないと航空定期路線の維持は難しい、高額な観光商品でもインバウンド向けにはしっかり販売できる等の意見があった。

また、(株)日本政策投資銀行の松村北陸支店長から、「北陸新幹線敦賀開業による石川県内への経済波及効果」について、敦賀開業に伴う経済波及効果は、直接・間接含めて年間約279億円であることをご説明いただいた。また、開業効果を北陸全域に広めるためには、「北陸エリア」の魅力を高め観光客の滞在時間を延ばす必要があること、北陸の価値をまだ見ぬインバウンド客に届ける余地は十分にあり、各地発信の主体的・能動的な広報の必要性はますます高まること等、有意義な指摘をいただいた。



### 2022年度第3回総合対策委員会

日時:4月21日(金) 12:20-14:00  
会場:ホテル日航金沢(オンライン併催)  
参加者:23名(会場12名、オンライン11名)

稲垣委員長は冒頭の挨拶で、北陸地域の経済状況と北陸新幹線敦賀開業が予定されている今年度は、北陸三県があたかも一つの都市として、一体となって地方創生に取り組む絶好の機会である旨を発言された。

その後、事務局から「2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、「2023年度事業計画(案)」、「付加価値額算定に関するアンケート調査結果」、「北陸のイメージ調査結果」、(株)日本政策投資銀行北陸支店の飯田企画調査課長から「カーボンニュートラル実現に向けた具体的施策の検討に関する基礎調査」について説明後、審議を行った。

「カーボンニュートラル実現に向けた具体的施策の検討に関する基礎調査」について、委員からは「製造業は第三次産業と比べCO2を多く排出するため、製造業が集積する北陸の炭素生産性は不利になる。他地域と比較する場合、地域ごとの産業特性を無視できないのではないか」「地域のブランド作りとして、CO2排出量の減少率をアピールする考え方もあるのではないか」等の意見があった。

その後、(株)日本政策投資銀行の飯田企画調査課長から、4月6日に同行が公表した報告書「北陸新幹線敦賀開業による石川県内への経済波及効果」について説明があった。委員からは「小松空港の利用者

は増えるのか」「福井県内への経済波及効果はどの程度か」等の質問があった。報告書は、下のURLから閲覧できる。

<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/41931881618fd732f07aa4377de4b9a2.pdf>



### 富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会

日時:4月28日(金) 15:30-16:30  
場所:ANAクラウンプラザホテル富山

大会には新田富山県知事、庵富山県商工会議所連合会会長をはじめ、北経連からは金井会長が出席。また関西経済連合会からリニア・北陸新幹線専門委員会の藤原委員長がオンラインにて出席した。

金井会長は挨拶の中で、金沢・敦賀間については「敦賀開業時には金沢開業時と同じように北陸ブームを起こすことが必要。敦賀開業に向けた機運の醸成や2024年秋の北陸デスティネーションキャンペーンを成功させるため、北陸三県と一体となって宣伝活動に取り組む」と述べた。敦賀・新大阪間については「関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し、政府に対し、大阪までの一日も

## 活動報告

早い全線開業を強く求めていく」と述べた。



### 北陸国際投資交流促進会議 (北投促)企業視察

日時:5月9日(火)13:30-15:30  
視察先:(株)パワー・アンド・IT  
参加者:北投促メンバー14名

北投促(北陸三県、北陸電力(株)、北経連)は首都圏での大規模展示会での出展や企業団地などを紹介した動画等により北陸の立地環境をPRし、北陸への企業誘致活動に取り組んでいる。

この度、企業誘致のターゲットの一つであるデータセンターについて見識を深めるため、富山市にある(株)パワー・アンド・ITを現地視察した。

冒頭、米屋社長よりご挨拶をいただいた。同社のデータセンターでは、データセンターに求められる安全・安心について高いレベルを提供し、顧客のニーズ



に答えていることや、富山市が作成した洪水ハザードマップでの予想浸水水位より敷地を高く造成したり、周囲には洪水から守るための擁壁を構築するなど対策を実施している旨、説明があった。

その後、ビデオでパワー・アンド・ITのデータセンターのセキュリティー対策や地震などの災害対策について紹介をいただき、澤武経営企画・営業部部長(営業担当)から免振装置モデルを使つての免振の仕組み等について説明を受けた。



施設内部のハウジング設備、建物下部にある5種類の免振装置、非常用発電設備、外周の擁壁などを見学した。

最後の質疑応答では、データセンターに設備を置く際に必要とされる人員とその手配に関する質問や、工事費の質問があり、免振装置やそれに付随する設備等で全体工事費の半分近くを占めるなど安全・安心に十分に配慮した建物・設備となっていることの説明があり、有意義な視察を終えることができた。

### 第1回政府予算等に対する 要望検討ワーキング

日時:5月10日(水)16:00-17:30  
会場:ANAクラウンプラザホテル金沢(ワライ併催)  
参加者:25名(会場16名、オンライン9名)

今年度の「政府に対する北陸経済界からの要望書」の作成に向け、幅広い業種の会員企業の実務者クラスの方で構成するワーキングを開催し、事務局が作成した要望書の全体構成、新規要望事項

の取り扱い等について議論した。

ワーキングメンバーからは「エネルギー関係の要望事項について、GX基本方針に記載されたことをもって削除しているものが多いが、具体的な成果が出ていないものについては再考してほしい」、「新規要望事項の中で、長年要望し続けているが実現していないものについては、記載ぶりを見直してはどうか」などの意見をいただいた。

次回6月5日(月)の第2回ワーキングでは、今回の議論を踏まえ、要望書案の取り纏めを行う。その後、7月の総合対策委員会、常任理事会の審議を踏まえ要望書を決定し、8月1日に東京にて要望活動を実施した。



### 第110回理事会・第356回常 任理事会合同会議

日時:5月16日(金)12:20-14:00  
会場:金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
参加者:55名(会場48名、オンライン7名)

理事会でのご意見を定期総会に反映させるべく、昨年まで定期総会の直前に開催していた理事会の開催時期を見直し、今年から5月の常任理事会と合同で開催することとした。

この日の会合では、6月6日に開催する2023年度定期総会への付議議案(2022年度事業報告および

決算(案)、2023年度事業計画および収支予算(案)、役員選任(案)ならびに総会後に開催する第111回理事会への付議議案(役付理事・参与(案))について審議し、原案どおり付議することが了承された。

役員人事では、新任の副会長に(株)北陸銀行代表取締役会長の庵栄伸氏、新任の常任理事に(大)北陸先端科学技術大学院大学長の寺野稔氏、(大)金沢大学長の和田隆志氏の2名、新任の理事に(株)森八取締役女将の中宮紀伊子氏、(株)箔一代表取締役社長の浅野達也氏、石黒建設(株)代表取締役社長の齊藤泰輔氏の3名の就任がそれぞれ内定した。

役員人事は6月6日の定期総会・理事会で正式に決定された。内定した役員名簿(案)は当会ホームページに掲載済み。

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/a053f8a269c7a57857b588ddbf2437a9.pdf>

このほか、今年度の各委員会委員長について報告した後、北陸信越運輸局の平井局長から「物流の2024年問題」に関する説明があった。





## 北陸新幹線建設促進大会・2023年度北陸新幹線建設促進同盟会総会

日時:5月23日(火) 10:30-12:00  
会場:明治記念館  
参加者:約280名



右から吉村大阪府知事、西脇京都府知事、杉本福井県知事、関西広域連合長の三日月滋賀県知事  
※一部、福井県杉本知事Twitter (@TatsujiS) より画像引用  
【Twitterリンク】<https://twitter.com/TatsujiS/status/1660850906429104130?s=2>

大会には杉本福井県知事、馳石川県知事、新田富山県知事、吉村大阪府知事、西脇京都府知事、関西広域連合長の三日月滋賀県知事、関西経済連合会松本会長、北経連の金井会長の他、沿線自治体の副知事などが出席した。また、来賓として沿線府県の国会議員、上原国土交通省鉄道局長、藤田鉄道・運輸機構理事長、長谷川JR西日本社長も出席した。

大会では、杉本福井県知事は「駅位置や詳細ルートなどを明らかにしながら、着工5条件の早期解決を図ることが重要な時期だ」と述べた。西脇京都府知事は「(北陸新幹線)全線開業は関西全体の発展につながるプロジェクト」と強調し、吉村大阪府知事は「事業費や工期を精査し、地元の理解を得ることが重要」と指摘した。その後、北陸経済界からの要請として金井会長が「北陸新幹線は日本海国土軸の形成や国土強靱化、経済成長・発展の観点からも、北陸地域にとって必須のインフラ。大阪まで結ぶことにより初めて本来の機能を発揮することになる。大阪までの一日も早い全線開業に向けて、関西の経済団体と緊密に連携し関西での早期全線開業を望む機運醸成に全力で取り組む」と意気込んだ。

## 北陸新幹線建設促進同盟会等中央要請

日時:5月23日(火) 13:00-17:00  
場所:財務省、総務省、衆議院第2会館、自民党本部

北陸新幹線の沿線10都府県でつくる北陸新幹線建設促進同盟会、沿線府県議会協議会、関西広域連合、関西経済連合会の松本会長、北経連からは金井会長が出席し、北陸新幹線の早期全線整備等について要請が関係各所で行われた。

同盟会会長の杉本福井県知事は敦賀以西の丁寧かつ迅速な環境アセスメントの実施、「北陸新幹線事業推進調査」による開業までの期間の最大限短縮、全線開業に向けたスケジュール感を早急に示すことなどを要請した。北経連の金井会長は「金沢開業により北陸本線の乗客数が3倍になり、ホテルへの投資拡大が進んだ。政府系の金融機関では開業による経済波及効果は年間1,000億円、北経連と関経連、大商で行った調査では年間2,700億円と従来の3倍近い効果が出る。非常に貴重な社会

インフラであるため1日も早い大阪までの全線開業にご尽力いただきたい」と要請した。

主な要請先は以下の通り。

財務省 宮本大臣政務官

総務省 拓殖副大臣

PT関係 額賀PT座長、高木委員長、稲田議員

国交省 古川大臣政務官

自民党 萩生田政務調査会長

公明党 石井幹事長、中川北陸信越方面本部長、上田政務調査会長代理、佐藤国対委員長、竹内議員、新妻議員



## 2023年度福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会

日時:5月27日(土) 16:00-17:30  
場所:JR芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」

福井県北陸新幹線建設促進同盟会の2023年度総会がJR芦原温泉駅のアフレアで開かれ、同盟会会長の杉本福井県知事や市町長、福井県選出国會議員、関西経済連合会の藤原リニア・北陸新幹線専門委員長、北経連からは金井会長が出席した。

杉本知事は挨拶で来春敦賀延伸に向けて駅周辺

のまちづくりや観光地、二次交通の整備など準備を万全にしたいと述べ、敦賀以西については従来工事認可後に行っていた調査などに取り組む「北陸新幹線事業推進調査費」を活用し、大阪までの工期をできるだけ短くすることが重要と述べた。

北経連の金井会長は、金沢-敦賀間について「敦賀開業まであと1年。敦賀開業時には金沢開業時と同じように北陸ブームを起こしたい。当会としては敦賀開業に向けた機運の醸成、北陸Destinyキャンペーンなどに北陸三県と一体となって準備を進めていきたい」とし、敦賀-新大阪間については「大阪までの一日も早い全線開業に向けて関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し、関西での早期全線開業を望む機運醸成に全力で取り組む」と語った。



## 第2回政府予算等に対する要望検討ワーキング

日時:6月5日(月) 15:00-16:30  
会場:ANAクラウンスラザホテル金沢(ワライ併催)  
参加者:30名(会場18名、オンライン12名)

今年度の「政府に対する北陸経済界からの要望書」の作成に向け、幅広い業種の会員企業の実務者クラスの方で構成するワーキングの第2回会合を開催。前回いただいた意見を踏まえ、事務局が作

## 活動報告

成した要望書案について議論した。

メンバーからは「外国人労働者長期雇用については、国も有識者会議を開催する等、外国人との共生社会の構築を目指している。この動きに合わせて何らかの形で要望してほしい」、「建設資材が高騰している。民間工事にもインフレスライド条項を適用するよう業界団体としても要望しており、北経連からも要望してほしい」などの多くの意見が出された。

今回の議論を踏まえて事務局が修正した要望書案について、理事以上の役員からご意見をいただいた後、総合対策委員会で審議、常任理事会で決定した。8月1日(火)に政府、与党への要望活動を実施した。



### 2023年度第1回 海外現地情勢報告セミナー

日時：6月26日(月) 14:00-15:30  
形式：オンライン開催  
参加者：47名

<主催者挨拶>北経連国際委員長高納伸宏氏

<第1部 報告>

「中国経済2023」

～日系企業の事業リスクと戦略モデル～

演者名：(一社)日中投資促進機構 事務局長  
岡 豊樹 氏

「中国における事業展開」

演者名：YKK中国投資社総経理 大門 和人 氏

「北陸銀行大連駐在員事務所の活動と東北3省の日系企業の新たな動き」

演者名：(株)北陸銀行 大連駐在員事務所所長

田村 昌邦 氏

<第2部 3者ディスカッション>

高納委員長は冒頭の挨拶で、アジア諸国をはじめとした国・地域の最新の政治・経済情勢、今後の動向・方向性、並びに日本との関係について理解を深めることは非常に重要であると述べた。

セミナー当日は、現地との回線トラブルの発生により、一部講演、3者ディスカッションの配信が困難となったことから、後日、日中投資促進機構様、YKK中国投資社様、並びに北陸銀行大連駐在員事務所様にご協力をいただき、セミナーの動画を収録し、本セミナーにお申込みの皆様にメールにて収録動画を配信した。

開催後のアンケートでは、中国の最新情報、マーケット動向、並びにコロナ対応等に対する理解が深まり、大変有意義な機会であったとの感想が数多く寄せられた。

本アンケート結果を参考に、次回セミナーの対象国、テーマ等を慎重に検討したい。

※再収録動画のご視聴を希望される場合は、高道takamichi@hokkeiren.gr.jpまでご連絡ください。



### 北陸国際投資交流促進会議 「最新のビジネスを支えるテクノロジー とアイデア」に学ぶ企業誘致勉強会

日時：6月27日(火) 14:00-15:15  
形式：オンライン開催  
参加者：67名

昨年度の勉強会では北陸3県に進出した企業から進出に至った経緯等を中心にご講演いただいたが、今年度は新たな観点で今後の企業誘致活動に資する勉強会を開催した。

今回は(株)野村総合研究所未来創発センターエキスパートストラテジスト  
長谷佳明氏を招いて「最新のビジネスを支えるテクノロジーとアイデア」と題してご講演いただいた。



長谷氏からは、世界におけるユニコーン企業について紹介があり、AI・宇宙などテクノロジーに強みを持つ企業が多数いることや、日本においても新素材などテクノロジーを後ろ盾に成長している企業が多いとの説明があった。ビジネスを差別化する6つの要素(パーソナライゼーション、サーキュラーエコノミー等)を実現することが成功の秘訣と述べ、Uber、スパイバーなど具体的な事例を紹介した。

「成長を可能にするビジネス創造プロセス」では、アイデア発想の重要性について言及。当初は模倣も可(模倣はビジネスを始める有望な選択肢)で、スタートアップの成長サイクルについて説明。金沢市の伝統工芸「螺鈿」にCADとレーザーを

取り入れ、斬新な作品を生み出している状況についても紹介があった。

ChatGPTをはじめとした生成AIについて、インターネットにより情報格差が縮まったように、生成AIが労働力の格差を解消する。今後生成AIによるビジネスを育てていくため、自治体は産学官連携の枠組みを十分に活かし、周りからサポートをしていくことが重要とした。

成長していく企業、成功の秘訣、そして地方創生・地域活性化につなげていくことの大切さについて話しをいただき、今後の企業誘致を進めていく上で大変貴重な講演となった。

### 2023年度第1回総合対策委員会

日時：7月4日(火) 12:20-14:00  
会場：ホテル日航金沢(オンライン併催)  
参加者：24名(会場17名、オンライン7名)

稲垣委員長は冒頭の挨拶で、北陸地域の経済状況、企業の成長に向けた企業の取組み等について発言した。

委員会では「2023年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」について審議した。委員からは「北陸新幹線敦賀以西の要望について、国に対しては、あらゆる機会を捉えて沿線住民の理解促進に努めてほしい」「自然災害に関する要望として、最近頻発している豪雨被害への対応も必要ではないか」「外国人労働者の更なる受入れに関する要望について、労働人口確保の観点から切実な問題になっており、時機を捉えた要望である」等、数多くの意見をいただいた。



## 活動報告



### 第357回常任理事会

日 時：7月7日(金) 12:10-13:30  
会 場：ホテル日航金沢(オンライン併催)  
参加者：33名(会場25名、オンライン8名)

6月の定期総会以降の代表者変更に伴う「役員の補充選任(案)」ならびに今年度の政府への要望事項を取りまとめた「要望書(案)」について審議が行われた。

冒頭、金井会長は挨拶で、北陸新幹線の新大阪開業までの期間の最大限短縮や着工・全線開業に向けたスケジュールの早期明示、北陸RDXや北陸未来共創フォーラム等の産官学連携の取り組みを通じた新事業創出支援における規制緩和・大学支援等の必要性、女性活躍のための環境整備として介護や育児の負担軽減、キャリア確立と家庭の両立支援施策等について要望していくと述べた。

「役員の補充選任(案)」については原案どおり承認され、「要望書(案)」については加筆すべき事項(9月分で期限を迎える電気料金負担軽減策延長と、特別高圧契約で受電するすべての事業者に対する軽減策適用をセットで要望)等の意見を踏まえた修正を行うこととし、修正内容については会長に一任された。

このほか、報告事項として、関西経済連合会からの共同提言(コーポレートガバナンスに関する提

言)の申し出に関する意見聴取のためのアンケート調査(対象：副会長、常任理事、理事)への協力要請を行った。



### 北陸国際投資交流促進会議(北投促)企業視察

日 時：7月11日(火) 14:00-16:15  
視察先：加賀東芝エレクトロニクス(株)  
参加者：北投促メンバー16名

北投促(北陸三県、北陸電力(株)、北経連)は、今年度2回目の企業視察を実施した。

冒頭、相田社長よりご挨拶いただいた。「ワクワクする明日を創る、それが加賀東芝」のスローガンのもと、世界的な需要増を背景にパワー半導体の生産能力向上のため、東芝グループが計2千億円を投じて行う生産増強工事などについて紹介があった。

その後、1984年の同社設立からの沿革、現行の生産能力と今後の増強工事などについて、総務部の後藤グループ長より説明いただいた。同社は、設立当初は半導体製造の後工程が中心であったが、その後、前工程もあわせて行うことになり、開発から製造までの一貫生産体制を取っている。設備増強工事によって、現行の8インチ(200ミリ)ウエハーから12インチ(300ミリ)ウエハーに大口径化し、生産能力は1期工事完了で2021年度比2.5倍、2期工事完了で同3.5倍にと、生産効率を追

求しながら規模を拡大していくと説明。その後、半導体製造の前工程と後工程両方の現場を視察させていただいた。

今回、半導体製造についての知見を深めることができ、今後の企業誘致につなげていける貴重な機会となった。



### 2023年度 実務者向けデジタル人材育成講座

開催日：7月5日~26日 毎週水曜日 14:00-17:00  
[講義・演習の全4回]  
形態：オンライン講座(講座録画動画を配信)  
講師：富山大学 名誉教授・特別研究教授 中川大氏  
主催等：北経連、(一財)北陸産業活性化センター(後援：富山大学)  
受講者：71名(講義・演習67名、講義のみ4名)

データサイエンスで「何ができるのか」「どのようなツールがあるのか」など、入門者向け講座として開催。社会人が受講しやすいように講座回数を、前年度の全6回から全4回に再編成し、当日に受講できなかった人や復習のために講座録画動画を配信。

講義では、最近話題となっている生成AI(ChatGPT等)についても取り上げ、受講者アンケートでは、好評の声が多数あった。

【講義テーマ】

・第1回(7月5日)

「講座概要・データ収集・分析・プレゼンテーション」

・第2回(7月12日)

「ビジュアル系デジタル技術」

・第3回(7月19日)

「プログラミングとAI・機械学習」

・第4回(7月26日)

「センサー・通信・IoT」



### 北陸三県港湾勉強会

日 時：7月18日(火) 14:00-17:00  
場 所：金沢港クルーズターミナル 会議室

北経連では、富山・石川・福井各県の港湾利用促進担当者が、意見・情報交換を行い、北陸三県の連携を深める「北陸三県港湾勉強会」を定期的に開催。

今回は石川県のご厚意により、「金沢港クルーズターミナル」、「御供田ふ頭」を視察。参加者はクルーズ船乗客の観光・購買状況やターミナル建設の経緯、コロナ禍でのコンテナ量の推移等について質問しながら熱心に視察された。

その後、各県の担当者間で、2024年問題に関する港湾物流活用施策など、港湾利用に関する情報交換、意見交換が行われた。



## 2023年度 北経連スケジュール

開催日 (予定を含む)	主要行事	備考
8月23日(水)	三県知事との懇談会	富山市
9月5日(火) 6日(水)	第26回三経連経済懇談会	札幌市
10月3日(火)	会員懇談会(福井会場)	福井市
10月17日(火)	第65回西日本経済協議会総会	金沢市
11月14日(火)	会員懇談会(石川会場)	金沢市
11月27日(月)	第50回北陸地方経済懇談会(経団連との懇談会)	金沢市
12月6日(水)	第30回中部・近畿経済産業局との懇談会	富山市
12月20日(水)	第358回常任理事会	金沢市
1月24日(水)	新春経済懇談会	金沢市
2月	会員懇談会(富山会場)	富山市
日程未定	第31回北陸地域懇話会(北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会)	金沢市

### 北陸経済連合会《事務局》

(2023年8月現在)

専務理事	東田 隆一	課長	宮西 啓一
常務理事・事務局長	牧野 正広(6月28日着任)	課長	小林 義郎
事務局長代理	福井 聡	課長	日野 恵美
部長	落合 章博	調査役	松木 一也
部長	坂井 昭治	調査役	小玉 陽介
部長	高畠 哲史	調査役	高道 郁人
部長	小島 正寛	副課長	越野 理恵
副部長	鳥山 倫彦		森岡 倫代
副部長	酒井 秀行(7月1日着任)		高縁 真希
副部長	浅井 弘司(7月1日着任)		

## 新規会員ご紹介のお願い

「ウイズコロナ・ポストコロナ」の中で「スマート・リージョン北陸」を目指す  
“北経連”への新規会員ご紹介をお願いいたします。

富山、石川、福井の三県からなる北陸地域は、急速に発展している東アジア諸国と日本海を介して対面しているとともに、東京、名古屋、大阪の三大都市圏に対して扇の要に位置しております。また、特色ある産業・技術の集積や豊かな自然環境、多彩な歴史・文化など多くの優れた地域特性を有しており、日本と対岸諸国との結節点として、更なる発展の可能性を秘めた地域であります。

私ども北陸経済連合会(略称:北経連)は、北陸三県をはじめとする関係機関と連携を図り、北陸新幹線や高規格幹線道路、港湾などの社会資本整備の促進、東アジア諸国との経済交流の促進、産業の振興支援等に積極的に取り組んでおります。

地域の主体性がますます重要となっている今日、これまで以上に北陸三県の経済界の総力を結集し、関係機関との連携、協働を進めていかなければなりません。

北経連の活動にご賛同いただける企業・団体の皆様のご紹介を、心よりお待ちしております。

入会ご希望の皆様へ

入会資格: 本会の目的にご賛同いただける法人、団体および個人

入会金: 不要

年会費: 1口 90,000円(1口以上)

入会お申し込み: 下記、当会事務局までご連絡ください。

### 北陸経済連合会

〒920-0981  
金沢市片町2-2-15北国ビルディング4階  
TEL.076-232-0472 FAX.076-262-8127  
HP <https://www.hokkeiren.gr.jp>  
E-mail: info@hokkeiren.gr.jp

東京事務所  
〒100-0013  
東京都千代田区霞が関3-2-1  
霞が関コモンゲート西館24階北陸電力(株)東京支社内  
TEL.03-3502-0471 FAX.03-3502-0460



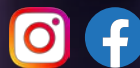




訪れるたび、新しい物語が紡がれる。  
あなただけの「北陸物語」に  
出会ってください。

北陸物語HPでは、7つのエリア・7つのカテゴリから様々なスポットを検索できる北陸三県の情報をはじめ、多様な切り口で楽しめるテーマ旅の提案、自分に合ったおすすめの旅を診断できる「ほくりく旅診断」など、北陸をより一層楽しめるコンテンツが充実しています。ぜひ、ご覧ください。

北陸三県（富山・石川・福井）をつなぐ、唯一の広域観光情報サイト  
北陸物語 <https://monogatari.hokuriku-imageup.org/>



多様な切り口で楽しめるテーマ旅の提案

あなたにぴったりの  
北陸旅がわかる  
「ほくりく旅診断」

北陸物語事務局：北陸経済連合会・北陸イメージアップ推進会議  
金沢市片町2丁目2番15号 TEL:076-232-0472 mail:kankou01@hokkeiren.gr.jp

北陸イメージアップ推進会議は、昭和61年9月に、北陸経済連合会と北陸三県（富山県・石川県・福井県）、北陸電力株式会社が共同で北陸の正しい実態を広く北陸地域以外の人々に認識して頂き、北陸のイメージアップを図ることを目的として設立されました。



北陸経済連合会

〒920-0981 金沢市片町2丁目2番15号(北国ビルディング4階)  
TEL(076)232-0472(代) FAX(076)262-8127  
URL:<https://www.hokkeiren.gr.jp>  
Email:info@hokkeiren.gr.jp